

【市内小学校の部 入賞】

海にむかう海女

鳥羽市立弘道小学校 六年

中村 圭吾

ぼくは見た

海にむかうかっこいい海女を

それはぼくのばあちゃんだ

今日もばあちゃんは海にとびこんだ

もりで魚をついていた

魚はぴくりとも動かない

次はたこをねらっている

ばあちゃんはたこにむかつて

もりでひとつき

たこはもりにささって苦しんでいる

ばあちゃんはたこをつかんであがってきた

ばあちゃんは平気な顔

もう一度海にむかつてとびこんだ

今度はあわびをねらっている

鉄のぼうをあわびのすきまに入れて

力いっぱい引いた

するとあわびがポロツととれた

ばあちゃんは海の中でちよつとうれしそう

ばあちゃんは息がもつかぎり
どれだけでもぐる

いくらでも取る

ばあちゃんはすごい

ばあちゃんは次の日も海に行く

今日は大きい魚をねらっている

ばあちゃんは泳ぎがうまい

だからすぐに海の底

目の前に大きなかげ

ばあちゃんはねらいをさだめ

ゆっくり近づく

ばあちゃんの目つきが変わった

「えいやー」

大きなかげにむかつてもりをつきさした

大きなタイだ

ばあちゃんは満面の笑顔

ぼくは見た

海からあがったかっこいい海女を

それはぼくのばあちゃんだ